



## 楽屋インタビュー

1. 本番を終えて、どんな気分ですか？

無事に終わりホッとしています。舞台に世界を表すことができたと感じ嬉しいです。

2. 本番中にハプニングありましたか？

照明を消す場面ではないのに消してしまった。  
セリフ間違えた。出ハケの位置を間違えた。

3. 思い出に残った台詞は？

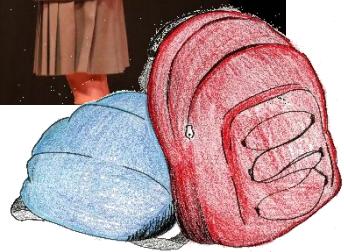
北浜栞！ 2週間、本当に楽しかったよ！ ありがとう。

4. 大会期間中に部活内で流行ったワード・行為は？

セリフを使った遊び（「消毒もらって、ありがとうございます」等）

5. 見てくれたお客さんに向けて、どうぞ

上演を見ていただき、ありがとうございました。震災・コロナによる出会いと別れがあったこと、誰かの生活が変わってしまったこと、今でもその影響があることを忘れずにいてほしいです。上演を見たことで思い出したことや経験を他の方々にも伝えてください。



## お客さんインタビュー

●避難所の雰囲気が上手に表現されていて、被災時のこと忘れずに受け継ぐという意思を感じた。そんな大変な状況でも、「その先」を見ながら未来に歩んでいくのがよかったです。

●劇中の細かい表現(呼びかけに対する反応や、独立語の「あつ」等)にもしっかりとした意図や気持ちが組み込まれており、それらに加えてホリによるシルエット表現も斬新で感心した

運営委員が観た!  
この劇の感想

●地震を不気味な音で表すことで地震に対する恐怖感を観客に伝えることができており、素晴らしい発想だと思いました。照明の使い方にも工夫が見られ、時間の表現が特に綺麗でした。役者の表情や体を使った演技、迫力のある発声により、物語に説得力を与えることができており、地震とコロナによる理不尽さを表現できていました。担当者：栗田（塩釜）

●劇中、何度も考えさせられました。数年前のコロナ流行の時の人々の感情や思考が、東日本大震災の時と重なって、悲惨な状況で登場人物たちが未来に不安があっても一生懸命生きているところに心打たれました。ホリゾント幕にシルエットが映る照明の演出がとても綺麗で印象に残っています。 担当者：上原（仙台東）